

いなほ三二通信



No. 28 2012年4月1日発行

編集：発行 七里地区社会福祉協議会

さいたま市見沼区大谷 1472(大谷会館内)



地域で支え合うには？



－ 普段の交流が「もしもの時」に力となります －

大震災後の3日間は、「外からの支援には期待できない」と言われています。なぜかと言うと、緊急を要する人命救助が優先されるからです。その間は「地域力」で乗り切らなくてはなりません。

東日本大震災の被災地には、そんな困難な時期を「地域力」で乗り切った集合住宅がありました。ここでは町内会を活性化するため、芋煮会や茶話会、掲示板などを活用した催しのお知らせなどコミュニティづくりに取り組んでいました。こうしたことにより、避難所のボランティア・主婦による炊き出し・若者による安否確認・お年寄りの介助などが迅速にできたのです。

いざという時のために、日頃からお互いに情報交換を行い、助け合い・見守りなど、どんな小さなことでも出来ることから始めましょう。

この積み重ねが、災害などいざという時の役に立つこととなります。

社協では、自治会単位の見守り活動を推進しています。是非ご協力ください。

また、自治会サロンに対して助成も行っています。ご利用ください。



避難場所ご存知ですか

避難場所

- 七里小学校
- 七里中学校
- 東宮下小学校
- 大谷小学校
- 大谷中学校
- 蓮沼小学校
- 七里公民館
- 県立大宮東高等学校



給水場所

- 七里小学校
- 大谷中学校
- 蓮沼小学校



問い合わせ先

七里地区社会福祉協議会

TEL・FAX 687-9997

平日13時～18時

4月の行事予定

日	曜日	行事
2	月	監査会
		正副会長会議
3	火	ウォーキング
4	水	総務部会
10	火	歌声サロン
19	木	うんどうサロン
21	土	園芸サロン
		理事会
25	水	子育てサロン
27	金	ふれあい会食

※ 皆様のお声をお寄せください。

